不思議現象に対する態度とレジリエンスの関連

不思議現象に対する態度 (53)

○坂田浩之¹・川上正浩¹・小城英子²

(¹ 大阪樟蔭女子大学学芸学部・² 聖心女子大学文学部)

キーワード: 不思議現象, 態度, 尺度

The relation between attitudes towards paranormal phenomena and resilience: Attitudes towards paranormal phenomena (53)

Hiroyuki SAKATA¹, Masahiro KAWAKAMI¹, and Eiko KOSHIRO²

(¹ Faculty of Liberal Arts, Osaka Shoin Women's University, ² Faculty of Liberal Arts, University of the Sacred Heart)

Key Words: paranormal phenomena, attitudes, resilience

目 的

不思議現象とは、現在の科学ではその存在や効果が立証されないが、信じられていることのある現象である。筆者らは一連の研究の中で、不思議現象に対する態度を測定する尺度 (APPLE: 小城他, 2008) を構成し、その短縮版 (APPLE SE/30: 坂田他, 2012) も作成している。さらに、APPLE (APPLE SE/30) の下位尺度のうち「懐疑」に関しては、多義的な尺度である可能性が示唆されたため、不思議現象に対する懐疑や否定にまつわる態度を多面的に測定可能な尺度を開発した (不思議現象に対する懐疑尺度: 坂田他, 2016)。そして、APPLE SE/30 と不思議現象に対する懐疑尺度を組み合わせ、不思議現象に対する態度尺度の改訂を行った (APPLE 改訂版: 小城他, 2016)。

不思議現象に対する態度がウェルビーイングとどのように関連しているのかについて検討することは、不思議現象に対する適切な態度を探索する上で有益である。例えば、具志堅 (2013) では、霊魂観念などの宗教観念と精神的健康、主観的幸福感との関連は認められないが、因果応報などのスピリチュアリティの信念との間には正の関連が認められている。そこで本研究では、APPLE 改訂版を用いて、不思議現象に対する態度とレジリエンスの関連について検討する。

方 法

調査対象者 中部圏の N 大学に所属する大学生、近畿圏の K 大学院に所属する大学院生 90 名 (男性 42 名, 女性 48 名; 平均年齢: 20.7 歳, $SD = 5.2$) が調査に参加した。

調査内容 坂田他 (2016) の因子分析結果にもとづく不思議現象に対する懐疑尺度 51 項目に、APPLE SE/30 の「懐疑」を除く 25 項目を加えた、APPLE 改訂版 76 項目を用いた。APPLE 改訂版は、「占い・呪術嗜好性」「スピリチュアリティ信奉」「娯楽的享受」「恐怖」「霊体験」「懐疑」(以下「懐疑(新)」「信奉者批判」「知的好奇心」「社会的現実を根拠とした否定」「中立」の 10 下位尺度によって構成される。また、レジリエンスを測定する尺度として、精神的回復力尺度 (小塩他, 2002: 「新奇性追求」「感情調整」「肯定的な未来志向」の 3 下位尺度により構成される) 21 項目、向上心尺度 (井上, 1999: 「成長動機」「現実自己の向上」の 2 下位尺度により構成される) 15 項目、達成動機測定尺度 (堀野, 1987) の下位尺度「個人的達成欲求」8 項目を用いた。いずれも 5 件法で回答を求めた。

手続き 調査は授業時間内に集団で実施された。

結 果 と 考 察

APPLE 改訂版の下位尺度とレジリエンス関連尺度との相関係数を算出した。その結果を Table 1 に示す。「占い・呪術嗜好性」と「スピリチュアリティ信奉」が、「肯定的な未来志向」、「成長動機」と有意な正の相関を示した。「中立」と「占い・呪術嗜好性」は、「成長動機」、「現実自己の向上」と有意な正

の相関を示した。また、「社会的現実を根拠とした否定」は、「個人的達成欲求」との間に有意な正の相関を示した。一方、「信奉者批判」は「新奇性追求」との間に有意な負の相関を示した。

これらの結果は次のことを意味する。すなわち、占いやおまじないを信じる態度、神仏や霊を信じる態度が、将来への希望や目標を持つというレジリエンスや、可能性を実現し、理想に近づこうとする向上心につながっている。神仏や霊に対する中立的な態度、占いやおまじないを信じる態度が、目標に向かって自律的に努力し、やり抜こうとするなどの向上心につながっている。一方、不思議現象を信奉する人を批判する態度は、新しいことに関心を抱き、チャレンジするというレジリエンスが弱いこととつながっている。さらに、事件の頻度などを根拠として不思議現象を否定する態度は、達成欲求につながっている。以上より、本研究の結果において、不思議現象に対する肯定的、あるいは中立的な態度がレジリエンスにつながっており、反対に、不思議現象を信じることへのむやみな否定は、レジリエンスの弱さにつながっていることが示唆された。不思議現象に対する態度に関する研究の文脈では否定的にとらえられがちな、不思議現象の信奉が、ウェルビーイングと関連していることが示唆されたことは、不思議現象に対する適切な態度について考察する上で有意義であり、今後さらに検討することが求められる。

※本研究の一部は科学研究費補助金基盤 C「不思議現象と心理学教育 (課題番号 15K04038 研究代表者 小城英子)」の助成を受けた。

Table 1 APPLE 改訂版下位尺度とレジリエンス関連尺度との相関係数

	新奇性 追求	感情調整	肯定的な 未来志向	成長動機	現実自己の 向上	個人的 達成欲求
占い・呪術嗜好性	.13	-.13	.28 *	.36 **	.27 *	.21
スピリチュアリティ 信奉	-.16	-.08	.37 **	.28 *	.19	.23
娯楽的享受	.21	.18	.03	.08	.20	.04
恐怖	-.12	.12	.23	.12	.06	.23
霊体験	.13	.06	-.02	-.08	.12	.02
懐疑 (新)	-.21	.11	-.01	-.14	-.16	.11
信奉者批判	-.29 *	.18	-.04	-.21	-.19	.07
知的好奇心	.14	.10	.05	.09	.10	.16
社会的現実を根拠と した否定	-.05	.22	.21	.08	.04	.39 **
中立	.22	-.15	.25	.37 **	.31 *	.19

*** $p < .001$, ** $p < .001$, * $p < .05$.